



無線通信機器に特化した
研究開発・試作受託コンサルティング会社

ね び や ひ で ゆ き
根日屋 英之

1956年生まれ

会社名：株式会社アンプレット
設立年月：1987年9月
所在地：〒110-0016 東京都台東区台東3-4-2
TEL： 03-3837-3047
FAX： 03-3837-3076
URL： <http://www.amplet.co.jp>

(A) プロフィール

1980年 東京理科大学第1部工学部電気工学科卒
日産自動車入社。その後、日立湘南電子、東京
大学生産技術研究所、日立製作所等で勤務
1987年 株式会社 アンプレットを設立し、代表取締役社
長に就任
現在 東京電機大学 工学部 電子工学科 非常勤講師を
兼任
その他 工学博士、電子情報通信学会正員
著書 DSPの無線応用（オーム社、塚本信夫と共著）
ユビキタス無線工学と微細RFID（東京電機大学
出版局、植竹古都美と共著）

(B) 起業に至った動機等

起業前は、主に研究開発部門で働いていたが、組織の
しがらみや少ない研究予算に、研究者としてのフラスト
レーションがたまっていた。そこで、自分の思うような
研究ができる研究所を自分で設立することが、研究者と
しての願望を満足できると考え起業に至った。

(C) 会社の沿革と事業の変遷

1987年 株式会社 アンプレット 設立
国内企業から、衛星通信機器、人工衛星レーザ
測距装置の開発、次世代無線通信機器の研究開
発業務を受託
1991年～ 大韓民国通産部中小企業振興公団無線通信

専門家として、大韓民国の中小企業の技術者の
育成、及び世界で初めてのCDMA方式の携帯
電話サービスの導入に関与。

1991年～ 運輸省（現在の国土交通省）電子航法研究所殿、
IHIエアロスペース殿、日立エンジニアリング
殿と航空機搭載用ミリ波衝突防止レーダの共同
研究開発を開始。

2001年～ ユビキタスネットワーク用RFID、及び新しい
概念に基づき設計された安価なリーダー・ライタ
の開発を開始。電子情報通信学会、電気学会な
どで講演を行い、注目をあびる。

(D) 事業概要（製品・サービス・技術の内容と特徴）

無線通信機器に特化した研究開発、設計、試作、コン
サルティング企業。大学、官庁、企業の付属研究所的な
業務が主体となっている。受託研究開発費、特許、ライ
センスなどによる売上を基に、次世代、次々世代の無線
通信機器の研究開発に取り組む。

会社設立以来一貫して、自己資金のみの無借金経営を
継続。他者からの資本導入は行わず、あくまでも、アン
プレットという会社単独での事業展開を行っている。

また、人材、特に若手研究者の育成のため、社員が大学
などで教鞭をとるなどの活動も積極的に行っている。

世の中に出た根日屋塾出身者は、すでに3桁の人数に
達している。

My Entrepreneurship

研究開発に特化した会社ゆえ、その人材は非常に大切である。
将来の日本を背負う若手の研究者の育成は、弊社のみならず、
将来の日本の財産と考える。しかしながら、このような人材は、
いざ、会社を集めるとなると簡単なことではなく、長い期間を
かけて育成する必要がある。

この人材は、技術のみならず、人間としての常識を見失っ
てはならない。企業の私利私欲のために研究をするのではな

く、何が人類のために役にたつのかを探求しながら、純粋な
心をもって研究に取り組むことが重要である。アンプレット
という会社が、他者の資本を受け入れず、あくまでも自己資
金を基に、自分たちの意思で会社を運営するスタイルをとり
続ける理由はここにある。よって、会社の規模を大きくさせ
るという発展型の企業経営ではなく、その時の人材で、でき
うる最大の研究成果をいかに出すかに、私は会社の存在意義
を感じている。